**学習指導案（略案）の書式例**

外国語科学習指導案（略案）

日　時　令和○年○月○日（　）

対　象　第○学年○組　○名

レッスン名等、*教科書名*、（出版社名）

授業者　職　氏名　○○○○

会　場　○階○○教室

１　単元名　Lesson 0 00000000 *0000000000000000*（出版社名）

２　単元の目標

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想を書きまとめるために、野菜の歴史について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

単元の目標は一文で示すことを基本とする。

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（小学校、中学校）（案）」（国立教育政策研究所　令和元年11月）「第３編　単元ごとの学習評価について（事例）【案】」より引用］

３　言語材料

　　（ターゲットとする文法事項や語彙、表現等を記入する。）

４　本　時（全○時間中の第○時）

(1)　本時の目標

（本時において生徒にどのような力を身に付けさせるのかを記述する。「～する」、「～することができる」など、生徒の立場で記述する。）

(2)　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | ○言語活動等（生徒） | ○指導・援助（教師）　◆評価＜方法＞ |
| 導入○分 | ○生徒の視点で記述する。（「～する。」） | ○教師の視点で記述する。（「～させる。」） |
| 展開 | ○～をする。・～し、…について××する。（少なくとも、ターゲットとする内容を扱った部分については対話例を入れる。）目標：「～することができる。」※本時の目標を生徒に伝わりやすい言葉にしてもよい。T:S:T:Ss: | ○◆【指導・援助の記述の視点】○ターゲットとなる文法・語彙の使用○既習表現の活用○正確さや適切さに関する指導○対話の継続○生徒への支援　　など |
| 目標は文法事項の理解そのものではなく、どのような英語力が身に付くか「～することができる」の形で示す。 |  |
| まとめ | ○本時の目標に対する振り返りをする。○次時の学習について見通しをもつ。 |  |